

令和8年度 小合地域 教育ビジョン

私たちを取り巻く
社会の現状と急速な変化



※「Volatility:変動性」、「Uncertainty:不確実性」、「Complexity:複雑性」、「Ambiguity:曖昧性」の4つの単語の頭文字をとった造語。

ウェルビーイングとは

身体的、精神的、社会的によい状態にあること。短期的な幸福はもちろんのこと、生きがいや、人生の意義といった将来にわたる持続的な意味や、社会が幸せと感じられることも含むもの。

〔小合地域の教育が目指す人間像〕
感性豊かな人 伝統と絆で繋がる人 熱意をもって挑戦する人

★ 令和7年度、小合中有志生徒である「小合デザイナー」を中心に、地域の児童、住民、教職員が協働して作成。

〔日本の教育が目指す2つのコンセプト〕

- 持続可能な社会の創り手の育成
- 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

〔新潟市の教育が目指す人間像〕
しなやかに 世界と未来を 創る人



子どもの成長・ウェルビーイングの向上

小合東小学校

教育目標

豊かな心を持ち
自分で考え
やりぬく子ども

〔目指す子どもの姿〕

自分で考え
行動する子ども

小合中学校

教育目標

自主 協力 創造

重点目標
ウェルビーイングの実現

〔目指す生徒像〕

- 全力で楽しみ、わくわくの溢れる生徒
- 仲間や地域を尊重し、助け合い高め合う生徒
- 積極的に創造する生徒

小合小学校

教育目標

心豊かな子
自ら考える子
たくましい子

〔目指す子どもの姿〕

- 学んだことを、学習や生活で活用する子ども
- 対話を通して、よりよく解決する子ども
- 多様ななかかわり、つながりの中で成長を自覚する子ども

小合西保育園

保育目標

健康で明るい子
友だちと遊ぶことが大好きでともに成長する子
豊かな感性をもちいきいきと表現する子

〔目指す子どもの姿〕
ひとみ
瞳かがやく子どもたち

教職員のやりがい・ウェルビーイングの向上

保護者、地域住民の生きがい・ウェルビーイングの向上

〔目指す姿を達成する手だて〕
祭の活性化
奉仕活動の活性化

ウェルビーイングの循環

ウェルビーイングの循環

子どものウェルビーイングの向上には、教職員や家族、地域住民、社会のウェルビーイングの向上が不可欠。そしてそれらは循環して高まり合う。

三校一園 教職員

秋葉区子ども支援室

秋葉区教育支援センター

秋葉区社会福祉協議会

新潟薬科大学

JA 新潟かがやき(花夢里にいつ)

高等学校

高齢者施設 等

三校一園 保護者

学校運営協議会

小合地域コミュニティ協議会

同窓会

消防団秋葉方面隊

青少年健全育成会

自治会町内会

「ちあき」の会

民生委員児童委員連絡協議会 等